令和５年度第２回大阪府立図書館指定管理者評価委員会議事概要

日　　時：令和６年２月29日（木）14時00分～16時00分

場　　所：大阪府立中央図書館　２階多目的室

出席委員：川瀬副委員長、関野委員、西村委員、帆足委員

１　開会

２　協議事項

・令和５年度府立中之島図書館指定管理運営業務の評価について

・令和５年度府立中央図書館指定管理運営業務の評価について

【府立中之島図書館】

委　　　員：コロナの影響が大きかった際、入館者数を目標値と比較してもあまり意味がないということで定量評価を行っておらず、５類に移行したことから令和５年度は定量評価を再開しているが、令和４年度と比較して入館者数が増えるのは当たり前。だが、平時である平成30年度と比較するとまだ８～９割程度にしか戻っていない。戻っていないのに設定目標を超えたからと言ってＡ評価にしていいのか。前年を上回るのは当たり前。コロナ前に戻そうという努力をされた方がいいのではないか。コロナ前に戻すような努力の目標値にしないと残念に感じる。

事　務　局：目標値の設定は、第２期指定管理の第１回目の評価委員会にて、提案書等に具体的な目標値がないものについては、『過去5年間の実績のうち、最大値と最小値を除いた３年間の数値の平均とする』とさせていただいた。ただ、コロナ前の数値をめざすべく、できるだけ賑わいを創造するような、入館を促進できるようないろいろな展示であるとか、講座であるとか、そういったことは指定管理・図書館ともに取り組ませていただいているところ。

副委員長：来年度の目標数値はコロナ前に戻されるのか。

事　務　局：また検討させていただいて、来年の１回目の委員会のときに諮らせていただくことになるかと思う。

委　　　員：今後、設定する際に使用する実績値はしっかりコロナの影響がある５年間になると思うので、コロナ以前の5年間とかで見た方が、次回はいいかと思う。

評価票Ⅲの（１）①にある「収支は計画どおり行われているか」について、多目的スペースの利用料収入が落ちているのでＢ評価としており、先の評価項目である多目的スペース有償利用率・収入額でも評価が下がっており、二重評価で落とされており気の毒な感じがする。どちらから一方の評価を落とすだけでもいいのではないか。

事務局：記載項目の通り、項目内容だけをとらえて評価している。今後検討したい。

委　　　員：補助金が出されたとある。電気代等高騰の影響に対して、十分な補填にならなかったのか、十分な補填となったのか。

指定管理者：電気代に関しましてはずいぶん助けられた。灯油代は対象外だったため、そちらもなんとかならないか、と思っている。

委　　　員：経費は管理者側で対応のため仕方ない部分もあり、補助金にも限度がある。電気代を節約する際、空調関係に影響があると思う。あまり節約すると快適ではない環境になるため、なかなか調整が難しくなると思うので、そのあたりの評価は少し多めに見てもいいかもしれないと思う。

委　　　員：暖房設備の修繕を指定管理者が行っているか、これは負担するものなのか。

事務局：お互い協議し、今回は指定管理者が負担することとなった。

委　　　員：対応されたということで支出は多くなっているが、マイナス評価ではないという理解でよいか。

事　務　局：お見込みのとおり。

副委員長：多目的スペースの利用率が昨年度よりかなり下がっている。何が影響していて、改善策は講じているのか。

事　務　局：昨年度は、文化庁事業など長期間利用される利用があったが、今年度はなかったため利用率が下がっている。貸室があるという認知がまだ低いため、近隣に呼びかけるなどしていきたい。

副委員長：中之島は非常に立地が良い。近隣に呼びかけても同じ立地がいい状態のため、呼びかける場所も考える必要があるのでは。中央図書館に多目的スペースの案内がなかった。こういう場所での呼びかけもぜひ検討していただきたい。

副委員長：置引きがあったとのこと。図書館で防犯訓練は行っているのか。

事　務　局：双方で、様々なケースを想定してマニュアルを作り共有しているが、訓練は行っていない。

副委員長：万が一のときにも役立つと思われるので、ぜひ訓練の実施をについて検討を。

副委員長：多目的スペースを活用したイベント等目標値をかなり超えて実施されており、努力されている結果と思う。現場スタッフの努力が報われるよう、近年の物価高もあるため、給与のベースアップを検討いただきたい。ぜひ大阪府の方から動いていただければと思う。

委　　　員：多目的スペースの有償利用について、ターゲット、利用目的等明確にならないと、どこに向けて呼びかけていいのか、利用を希望する人がどういったときに利用できるのか、わかりにくいと思う。特に新規の人に対しては、どういうことに利用できるのか明確にした方がいいと思う。

副委員長：ホームページにハッシュタグをつけて「こんなことに使える」広報しているが、あまり利用率が上がらないのか。

事　務　局：文化的事業をベースに貸し出しを行っている。自社セミナーや建築関係、裁判所の議論スペース等の利用があるため弁護士事務所などに広報を行うと、図書館にスペースがあることを知らないという意見も多い。

委　　　員：参考資料Ｎ４の収支計画及び報告書、広報費が215万円計画されているが、執行が130万円。現状を聞きたい。

事　務　局：初年度、ホームページ作成経費も含まれている。今年度、新聞広告にて講座の広報を行っていたが、経費がかかる割に実績が上がらない。インスタグラムやＸを利用したほうが効率的と思ったため途中で新聞広告を止めたので、執行額が収まっている。

副委員長：アンケートにも多目的スペースを知らないと回答した人が６割を超えている。何かしらの宣伝が必要。

アンケートの回収率は上がっているか。ＱＲコードからの回答率はどうか。

事　務　局：回収率はなかなか上がらない。ＱＲコードからの回答もごくわずか。

今回アンケートで来館頻度を集計した。初来館の方は、建物見学とカフェの利用者が多い中、講座・展示・図書閲覧と本来の図書館業務で来られている人も多くいることがわかり、広報活動は足りていないかもしれないが少しずつ浸透していると思っている。

【府立中央図書館】

委　　　員：指定事業の参加者数の目標値について、12月実績で241人、年度末見込みが787人と大幅に増えている。何か増える見込みはあるのか。

指定管理者：２月末に実施するダンスカーニバルが要因。観客が多く予定されている。

委　　　員：それは昨年度まではできず、今年度から実施できるようなイベントなのか。

指定管理者：ダンスカーニバルは毎年実施しているが、観客を募集しての実施は今年度からとなっている。

副委員長：アンケートにかなりの数で「暑い」「換気がうまくできていない」とある。そのあたりの改善策は考えているのか。

後ろの評価で「適切な空調管理等により経費削減に努めている」とあるが、経費削減をしすぎて「暑すぎる」「空調管理がうまくいっていないのではないか」と考えられる。

指定管理者：クールビズ・ウォームビズの基準があるため、準拠して空調管理している。開館中に温度測定等行い、こまめに調整を実施。必要以上に温度が上下しないようにモニタリングを実施。換気については、対応できる部分は対応していきたい。

委　　　員：停電について。避けられない事象なので対応が難しいと思うが、どんな不備があったのか。

指定管理者：停電発生時、施設管理責任者が不在だったため、原因確認・復旧・各所への連絡等停滞した。

施設含め管理者はいつでも施設も見ているものであるため、責任者休暇等不在時の連絡系統を見直し、いち早く本部に連絡するよう、連絡網の見直しを実施した。

委　　　員：責任者も年中無休じゃない。休暇もあるため不在時の連絡の取り方について定まっていなかったものを定めたという理解か。

指定管理者：お見込みのとおり。

委　　　員：先ほど２月のダンスカーニバルでは集客が見込まれ、実施回数は昨年度と変わりなくてもかなりの参加人数になると聞いた。それと比較し、マルシェや謎解きゲームについて実施回数が増えているが、参加人数は例年並みである。ダンスカーニバルとマルシェ・謎解きゲームの収入インパクトは、どちらがいいのか。参考資料C4収支計画及び報告書の支出欄に事業費が記載されており、自主事業は計画800万円に対し約660万円の支出、指定事業は計画650万円にたいし1,000万円近く支出している。

指定事業の費用負担が大きいのではないか。

指定管理者：ダンスカーニバルは主演者と観客から参加費・入場料を徴収、協賛企業からの広告費を事業費に充てて運営している。

委　　　員：収入もあるが、費用もかなりかかるイベントになるのか。今後指定事業の支出額はまだ上がるのか。

指定管理者：収入より支出の方が大きい。支出額はまだ上がっていく。

委　　　員：自主事業は、実施回数を増やしても費用はあまり変わらないのか。

事　務　局：自主事業一覧は参考資料C2に記載。イベントによっては、実施回数１回でもかなり集客がある事業もあるが、１回の実施に１人の参加であっても実施するため、必要経費は必ずかかってしまう。

マルシェ、マーダーミステリーは直営時代から実施しており、公募時に必須事業としている。それぞれ、障がい者への就労支援場所の提供、読書のきっかけを持ってもらうためのイベントとして実施。

副委員長：事業費が足りないということではないか。来年も持ち出しをさせるのか。

事　務　局：府より管理委託料を支払っており、運営している。管理委託料の収支の内訳は、指定管理者が設定している。民間の経営ノウハウを活用していただいて、府からの管理委託料と事業収益等で運営することとなっている。

繰り返しになるが直営時代にやっていた事業を、指定管理制度導入しても継続実施することを条件に応募している。府からの管理委託料で運営することとしている。今年度、観客が多いので駐車場の収入が増えるなど、様々な要素が想定される。

委　　　員：図書館で実施する事業に意義があるのはわかるが、続ける必要があるのか。支出が多いだけの事業なら検討したほうがいいのではないか。

事　務　局：そこの指標は利用者アンケートになるかと思っている。個々のイベントについてもアンケートを実施しながら事業の構築にフィードバックしていきたいと認識。

委　　　員：アンケートを見ると食堂を利用したことがない人がかなりいる。低価格で味も悪くない。自分もよく利用する。利用者を増やすような取り組みをしてはどうか。

指定管理者：利用が少ないというアンケート結果となっているが、ある程度評判が良い状態である。

利用したことがないという結果が出ているのは、アンケートを取ったタイミングもあると思う。結果として出ているので、広報等検討していきたい。

委　　　員：会議室に無線LANを整備されたが、利用率は把握しているか。

指定管理者：利用実績はカウントしているが、まだ頻度が少ない。より周知していく必要があると感じているところ。

副委員長：アンケートで、Wi-Fiに繋がりにくいとある。改善策と、会議室の接続状況は。

事　務　局：会議室はそういった声はない。図書館独自の公衆Wi-Fiについてと思われる。こちらは図書館で取り組んでいく必要があると考えている。

副委員長：カフェスペースのメニューを増やしてほしいとアンケート結果が出ている。

事　務　局：設置している自動販売機の内容と思われる。入れ替え時期に検討したい。

副委員長：カフェスペースを利用されている人が多いと感じた。テレビなどメディアの協力とは、どのようなものか。カフェスペースでのイベントは増やしていくのか。

事　務　局：図書館と共催で「音楽と絵本の読み聞かせ」を実施した際に、新聞イベント告知欄に掲載いただいた。イベントは増やしていきたいと考えている。

副委員長：中央図書館でも、やりがい搾取にならないよう人件費のアップにつながるよう大阪府が動いてほしい。

３　閉会